■奈良原繁 官僚。維新後の沖縄の発展に尽くす一方、沖縄自由民権運動を徹底的に弾圧、“最後の琉球王”と呼ばれた。

ならはらしげる

高島砲術・・・1834＝鹿兒島城下で、薩摩藩士の後に飛行家となる奈良原喜左衛門三次の弟に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝3歳：

順天堂始・・・1843＝9歳：

阿部正弘首座1845＝11歳：

万次郎帰国・1852＝18歳：

ペリー来航・1853＝19歳：

薩摩藩士として、

桜田門外変・1860＝26歳：

遣欧使節・・・1861＝27歳：〈寺田屋騒動〉、

生麦事件・・・1862＝28歳：〈生麦事件〉に関わり、

8月18日政変 1863＝29歳：〈薩英戦争〉で戦闘に参加。

明治維新・・・1868＝34歳：

初の日刊新聞1870＝36歳：

明治6年政変 1873＝39歳：

大久保暗殺・1878＝44歳：_内務省御用掛として中央官僚となり、

琉球処分・・・1879＝45歳：*内務大書記，鹿兒島県官として琉球処分に当たる。

明治14年政変1881＝47歳：農商務権大書記官に就任し、

1883＝49歳：静岡県令を経て、

秩父事件・・・1884＝50歳：工部大書記官となるも非職、_大日本鉄道会社初代社長となり、

初の対等条約1888＝54歳：元老院議員に任ぜられ、欧米諸国出張、

帝国憲法発布1889＝55歳：_両毛鉄道社長も兼任、

貴院議員，宮中顧問官を歴任後、

大本教・・・1892＝58歳：*大日本鉄道会社を辞職して、第8代沖縄県知事となり、

日清戦争始・1894＝59歳：

白馬会・・・1896＝62歳：男爵。

八幡製鉄始・1897＝63歳：

_土地税制の改革，地方制度のほか，教育では就任時17%の小学校就学率を在任中に93%まで向上させ，また沖縄で最初の新聞{琉球新報}の創刊に協力，さらに那覇港の修築，農工銀行の新設，糖業改良事務局の設置などに尽力した。しかしこれらの政策実施のための土地整理事業は，農民からの土地収奪となり，それに反対する謝花昇らによって指導された沖縄自由民権運動に徹底的な弾圧を加えた。そのため<最後の琉球王>と呼ばれた。

日露戦争終・1905＝71歳：

満鉄発足・・・1906＝72歳：

アラビヤ創刊・1908＝74歳：*退官。

明治天皇没・1912＝78歳：

21ヶ条要求・1915＝81歳：

本格政党内閣1918＝84歳：_没した。

平凡社百科事典、